

## サラワクの貿易統計

統 計 部

### は し が き

イギリスの長い植民支配を受けていたサラワクは、1963年9月、同じイギリス領ボルネオのサバとともにマレーシア連邦へ加入することにより独立した。

この国は、人口約80万、面積12万3025平方キロメートル、主としてマレー人、中国人、そしてイバン (Iban) と称する原住民で構成される農業国で、ゴム、コショウ、木材などの1次産品や小規模の石油を輸出し、食料、機械、完製品などを輸入している典型的な低開発国である。そして現在、サラワク開発5カ年計画 (Development Plan for Sarawak, 1964~1968) を主軸にして産業の多様化と近代化を推し進めている。

このようなおくれた産業構造を持つサラワクで作成されている統計には、従来から貿易統計以外にはあまりみるべきものがなかったが、1960年には人口センサス、住宅センサスが実施され、また農業統計報告書も刊行されるなど統計の整備が進められているようである。

サラワクの貿易統計は、統計書としての形式的な面、また国際標準方式を念頭においた場合の内容的な面からいえば、まだまだアジア諸国の中でもおけている部類に属するといえよう。

すなわち、1962年までのサラワクの貿易統計書では、内容説明や商品分類表などが簡単で、かつ、総括表 (Summary table) がなくて、細目表 (Detailed

table) のみであった。しかし、マレーシア連邦加入後の1963年以降のサラワクの貿易統計書は、アジア諸国の中でも貿易統計の編集・作成において水準の高いマラヤ、シンガポールの影響を受けて、かなり形式的にも内容的にも整備されてきたことがうかがえる。すなわち、別項で詳述するように、総括表も単なるサマリー表でなくて、サラワクの個性的な貿易構造の概要がつかめるように分析的加工表が数多く付加されている。

本稿では、このようなサラワクの貿易統計の歴史の変遷を明らかにしながら、統計作成上の諸定義や構成内容について以下解説を試みる。

### I 貿易統計書の概要とその構成

現在、サラワクの貿易統計の基本資料 (通関ベース) は、マレーシア連邦サラワク州のクチンにある統計局 (Department of Statistics, State of Sarawak, Kuching, Federation of Malaysia) で編集・刊行されている *State of Sarawak, Statistics of External Trade* である。これは、輸入、輸出、そして再輸出の3編が1冊の統計書にまとめられた半年報で、年2回作成・刊行され、後半期の統計書 (7月~12月号) で、後半期の貿易実績とともに年初からの累計として年集計が得られるようになっている。また、この統計書で輸入金額および数量を利用する場合、この統計書の「輸出」は、再輸出の実績が含まれていないので、サラワクの総輸出をみるとときには、「輸出」と「再輸出」を

合計することが必要である。

次に、サラワクの歴史的かつ政治的変遷のあとをみながら、その貿易統計書の変遷を概観してみよう。

1841年、ブルックというイギリス人が土侯から獲得したサラワクの領土を、イギリスが1888年保護領とし、さらに1940年直轄植民地とした。このようにサラワクはイギリスの植民支配を強く受けていたが、1963年9月、マレーシア連邦への参加を契機にその1州となり、前述のように文字どおり独立国となった。したがって、典型的な業務統計の一つであるサラワクの貿易統計もこの政治的支配の影響をいち早く受け、香港、インド、パキスタンなど、かつて、イギリスを旧宗主国とした東南アジア各国の貿易統計書の形式や記述方式に類似し、一脈相通ずるものを持っている。すなわち、サラワクの貿易統計は、イギリスの貿易統計処理方法に従って統計が作成されているということができよう。サラワクの貿易統計に関するデータは、サラワクが古くからシンガポール、香港など外国との交易関係があったにもかかわらず、1948年からしか利用できない。

このデータも1953年までは、標準国際貿易分類(SITC, Original)に準拠しない旧分類(Old list)で商品分類されたもので、統計書の内容・形式ともに不十分なものである。1954年1月からは、商品分類は、SITC, Originalの分類体系に準拠したサラワク貿易統計品目分類(Sarawak Trade Classification)に組み替えられ、かつ貿易統計の編集・作成上の定義概念も国際標準方式に即して作成され、貿易統計書としての内容・体裁も整ってきた。

1948年から1962年までのサラワクの貿易統計は貿易関税局 (Department of Trade and Customs, Government of Sarawak) で編集・作成された *Sta-*

*tistics for the year* という書名の貿易統計書で、年2回刊行される半年報である。

1963年からの貿易統計の作成機関は、サラワクのマレーシア連邦加入に伴い、サラワク中央統計事務所 (Central Statistics Bureau, Kuching, Sarawak) に変更され、その貿易統計書も *Statistics of External Trade* と改名された。さらに1964年1月からは、貿易統計の商品分類を関税率表と1対1の対応関係のできた新標準国際貿易分類 (SITC, Revised) に準拠したマレーシア貿易統計品目分類 (Malaysia Trade Classification and Sarawak Customs Tariff) に改訂し、さらに分析的な加工統計表を加えるなど統計書の内容刷新と充実をはかっている。1964年1月からのサラワクの貿易統計書は、1963年のそれと書名は同じであるが、その作成機関は、マレーシア連邦の統計機構の整備強化に伴いサラワク統計局に昇格し、現在に至っている。

ここで、現在のサラワクの貿易統計の基本資料 *Statistics of External Trade* の内容構成について詳述してみることにしよう。

最新版の1965年版は次のような構成になっている。

#### (1) 統計書の内容説明

これは、統計作成上の定義、原資料、金額および数量評価、商品分類などサラワク貿易統計の基本的事項について述べた凡例と商品分類表(1桁、2桁の品目コードおよび品目名記載)から成っている。

#### (2) 総括表 (Summary table)

これは、後述の商品別国別および国別商品別などの細目表を基にして、サラワクの貿易の概要や動向が種々の角度から知りうるようまとめられた統計諸表である。

これらの統計諸表を整理してみると次のようになるが、これら統計諸表からサラワクの貿易の特

色を理解することができる。

- (i) 商品大分類別輸入・輸出・再輸出額
- (ii) 外国貿易収支差（5カ年間の時系列）
- (iii) 月別輸出入額およびその貿易収支差（3カ年間の時系列）
- (iv) シンガポール、マラヤ、サバ、その他の外国との商品大分類別輸出入額
- (v) マラヤ、サバを除いた商品大分類別輸入・輸出・再輸出額
- (vi) 相手国別商品大分類別輸出入額
- (vii) 主要通貨地域別輸出入額
- (viii) アジア主要諸国との輸出入額（6カ年間の時系列）
- (ix) 英連邦の主要諸国との輸出入額（6カ年間の時系列）
- (x) 欧州共同市場諸国との輸出入額（6カ年間の時系列）
- (xi) 石油製品の輸出入額（6カ年間の時系列）
- (xii) 主要国内産品の輸出額（12カ年間の時系列）
- (xiii) 主要国内産品の輸出単価（4カ年間時系列および最近年の月別）
- (xiv) 港別地区別ゴム・ペーパー・木材輸出額（4カ年間の時系列）
- (xv) 主要商品の輸入額（6カ年間の時系列）
- (xvi) 相手国別港別搬出入貨物総トン数
- (xvii) 輸出入商品関税収入
- (3) 細目表 (Detailed table)

これは、輸入、輸出、そして再輸出の3編に分かれていて、各編とも細分類6桁の品目別相手国別、相手国別品目別（小分類3桁）、港別品目別（小分類3桁）の数量および金額が計上された統計表で、この統計書の中心的な部分を占めている。一般的にいて、アジア各国の貿易統計書において、品目別相手国別統計では、比較的詳しい貿易実績を

得ることができるが、細目表の相手国別品目別統計は、香港、マラヤなど一部の国を除いてはほとんど掲載されていない。もしそれがあってもせいぜい品目が SITC 2桁レベルまでである。しかるに、1964年版からのサラワクの貿易統計書では、香港と同じ商品分類3桁レベルの相手国別品目別表が掲載されており、サラワクの貿易統計がマレーシア連邦加入後とみに整備改善されてきたことがうかがえる。

次にこのサラワク貿易統計の総括表と細目表の統計数字上の関係についてみてみよう。マラヤの貿易統計では、100マラヤドル未満の小額取引が総括表の大分類（Section）に含まれているので、総括表と細目表の数字は完全に一致していない。しかし、サラワクの貿易統計では、サラワクのマレーシア連邦加入以前も以後も一貫して、総括表と細目表の統計数字が完全に一致するように編集作成されている。

## II 定義および除外品目

この貿易統計作成のための原資料は、輸出入業者がサラワクの税関部（1963年以前は Department of Trade and Customs, 1964年以降は Department of Royal Customs and Excise）に提出した輸出入申告書である。この税関部から送付をうけた輸出入申告書を基にしてサラワク統計局では特別貿易方式（Special Trade System）により貿易統計の編集を行っている。この特別方式は、海空陸路による輸出入商品の流れを国境でとらえる一般貿易方式（General Trade System）と異なった方式で、国境でなく通関段階でとらえるものである。

すなわち、輸出（再輸出を含む）には国内産品の輸出、保税工場で加工されて輸出されたもの、輸入通関品で国内で変形加工され、あるいは変形加

工されない輸出商品が計上されている。他方、輸入には、国内消費のために直接輸入された商品と保税倉庫から国内に通関庫出しされた商品の二つが含まれている。

また、政府・民間を問わず、経路のいかんを問わず、申告の対象とされ、統計に計上されるが、第三国間の通過貿易貨物や単なる積替えの貨物は除外されている。この貿易統計に関する統計地域 (registration area) は、いうまでもなく、マレーシア連邦のサラワク州で、その領土的概念規定 (面積12万3025平方キロメートル) と一致している。

貿易相手国の取上げ方については、輸入の場合は、生産・加工された原産国 (Country of Origin)、輸出では仕向国 (Country of Destination) をとることを原則としている。続いて、この貿易統計に計上されない除外品目として指定されているものは以下のとおりである。

- (1) 流通过程にある紙幣および铸貨
- (2) 非課税の旅行者携行品
- (3) サラワクの船舶および航空機に供給される燃料と船用品
- (4) 石油資源調査および採掘機器等の貸借品
- (5) 直接通過貨物
- (6) 魚場よりの直接水揚げ魚介類
- (7) 外交団の輸出入品
- (8) 政府輸入の船舶、航空機および武器

ここで、とくに注意しておきたい点は、これら除外品目の中に、金・地金が含まれていないことである。国連を初め、多くの国においては、金・地金を除外品目として取り扱っているので国際比較上問題がある。

したがって、サラワクの貿易統計数字を利用する場合、この点をとくに留意されることが肝要である。

### III 数量・金額評価

数量単位は原則としてヤード・ポンド法 (British standard weights and measures) を採用しているが、サラワクの標準度量衡もあわせて使用している。数量は包装および梱包などを除いた純重量で示されている。

次にこの貿易統計書で使用されている数量単位およびその略語を整理してみると以下のようになる。

#### 数量単位および略語表

##### (1) 個数 (Numbers)

Number	(No)
Pair	(Prs)
Dozens	(Doz)
Dozen pairs	(Pprs)
Hundreds	(Huns)
Gross	(Gros)
Thousands	(Thus)
10,000	(Tths)

##### (2) 重量 (Weight)

Ounces-Avoirdupois Weight	(Ozs)
Pounds-Avoirdupois Weight	(Lbs)
Katis	(Kts—1 $\frac{1}{3}$ lbs)
Hundred weights	(Cwts—112 lbs)
Pikuls	(Pkls—133 $\frac{1}{3}$ lbs)
Tons	(2,240 lbs)
Ounces-Troy	(Tozs)

##### (3) 長さ (Length)

Feet-lineal	(Ft)
Yards-lineal	(Yds)

##### (4) 面積 (Surface Area)

Square Feet	(Sft)
Square Yards	(Syds)

## (5) 容積 (Cubic Content)

Cubic Feet (Cft)

Gallon-Imperial (Gals)

Measurement Tons of 50 cubic feet (Tcft)

1,000 Cubic feet (Mcft)

## (6) その他 (Miscellaneous)

Dozen Packets (Dpks)

Gross Registered Tons-Marine (Gton)

Kilowatt Hours (Khrr)

Hundred boxes (100 b)

なお、参考までに、この貿易統計書で使用されているサラワクの数量単位のヤード・ポンド法、メートル法への換算率、ヤード・ポンド法のメートル法への換算率などについて示してみよう。

## 数量換算率表

## (1) 重量について

## (i) サラワク度量衡のヤード・ポンド法への換算率

1 tael = 1.33 ounces

1 kati (16 taels) = 1.33 pounds

1 pikul (100 katis) = 133.33 pounds

1 pikul (100 katis) = 1.19 hundredweight

1 pikul (100 katis) = 0.0595 ton

## (ii) ヤード・ポンド法のサラワク度量衡への換算率

1 ounce = 0.75 tael

1 pound (16 ounces) = 0.75 kati

112 pounds (1 hundredweight) = 84.021 katis

112 pounds (1 hundredweight) = 0.84 pikul

2,240 pounds (1 ton) = 16.804 pikuls

## (iii) メートル法のヤード・ポンド法への換算率

1 hectogramme = 3.527 ounces

1 kilogramme (10 hectogrammes) = 2.204 pounds

1 metric ton (1,000 kilogrammes) = 0.984 ton

## (iv) ヤード・ポンド法のメートル法への換算率

1 ounce = 0.283 hectogramme

1 pound (16 ounces) = 0.453 kilogramme

1 hundredweight (112 pounds) = 50.803 kilogrammes

1 ton (2,240 pounds) = 1.016 metric tons

## (v) メートル法のサラワク度量衡への換算率

1 hectogramme = 2.645 taels

1 kilogramme (10 hectogrammes) = 1.653 katis

100 kilogrammes = 1,653 pikuls

1 metric ton = 16.53 pikuls

## (vi) サラワク度量衡のメートル法への換算率

1 tael = 0.378 hectogramme

1 kati (16 taels) = 0.605 kilogramme

1 pikul (100 katis) = 60.50 kilogrammes

## (2) 容積について

1 litre = 0.22 Imperial gallon

1 litre = 0.264 U. S. A. gallon

1 Imperial gallon = 4.546 litres

1 Imperial gallon = 1.201 U. S. A. gallon

1 U. S. A. gallon = 3.785 litres

1 U. S. A. gallon = 0.832 Imperial gallon

## (3) 面積について

1 square metre = 10.764 square feet

1 square metre = 1.196 square yards

1 square foot = 0.093 square metre

1 square yard = 0.836 square metre

金額表示はマラヤドルで、換算率は、現在1マラヤドル=2シリング4ペンスとなっている。輸入価格については、輸出国における f. o. b. 価格に保険料および運賃を加えた c. i. f. 価格で、関税はその中に含まれていない。

他方輸出価格については、国内販売価格に輸出手続きの経費を加えた f. o. b. 価格である。

## IV 相手国分類

サラワクの貿易統計における相手国分類の仕方は、1964年を境界とした二つの異なった分類体系に基づいて行なわれている。

すなわち、1963年以前の相手国分類体系は、まず世界全体を大きく五つの地域に分けて、これを最初のコード1桁を用いて区分し、さらにその中に含まれる国に3桁のコードをつけてアルファベット順に分類している。この分類体系の地域分類とその地域に含まれる国数を表示すると第1表のとおりである。

第1表 1963年以前の相手国分類

コード	地域名	地域に含まれる国数
1	アジア	24
2	ヨーロッパ	24
3	アメリカ	12
4	オーストラリア	3
5	アフリカ	9
合計	5	72

(出所) *Sarawak Trade Classification 1957.*

次に1964年以降の相手国分類体系をみてみると、1963年以前のような地域ごとの大分類を設けるという仕方はとってないで、単に国をアルファベット順に並べ、おのおのの国に3桁のコードをつけている。

この相手国分類リストをながめて興味深い点は、まず日本を“385 Japan,” “380 Japan via Hongkong” と二つの相手国に分類したり、さらにインドネシアを同じ3桁のコードで、インドネシア全体とインドネシアの各地域を相手国として取り上げて分類している点などである。1964年以降の相手国分類では1963年以前の国数よりも123増加した195の国数となっている。

## V 商品分類

サラワクの貿易統計の商品分類は、以下説明するように、三つの異なった基本的な分類体系に基づいて作成されかつ時代的に区分されてサラワクのすべての貿易統計にそれぞれ使用されていた。

## 1. SITC に準拠しない商品分類

サラワクの貿易統計の商品分類は、1954年1月から国際標準貿易分類に準拠した商品分類に全面的に組み替えられたわけであるが、それ以前の商品分類はどのようになっていたのであろうか。それに関する商品分類表が現在入手しえないので、その分類体系や性格は判然とはしない。しかし、1948年から1953年までのサラワクの貿易統計書により整理してみると次のようになっていることがわかる。この商品分類は、大分類 (Class), 中分類 (Group), 細分類 (Item) の3段階品目区分になっていて、輸入と輸出は共通の商品分類体系でなく、別建てのものとなっている。

1953年版のサラワクの貿易統計書からその品目構成や品目数をみると、輸出の場合大分類は6、中分類は8、細分類(最終品目)は81の品目であり、他方輸入については、大分類は5、中分類は62、細分類449で構成されている。

次に大分類の構成項目を示すと次のとおりになっている。

## 輸入 (Import Articles by Classes)

## (1) 動物, 食料, 飲料およびタバコ

(Animals, Food, Drink and Tobacco)

## (2) 原材料

(Raw Materials and Articles mainly unmanufactured)

## (3) 製造品

(Articles wholly or mainly manufactured)

## (4) 小包郵便物

(Parcel post)

## (5) 金塊

(Bullion)

## 輸出 (Export Articles by Classes)

## (1) 森林生産物

(Forest Produce)

## (2) 農業生産物およびその加工品

(Produce of Cultivated Lands and Manufactures)

## (3) 海産物

(Sea Produce)

## (4) 鉱物

(Minerals)

## (5) その他の生産物

(Other Produce)

## (6) 再輸出品

(Re-exports of imported merchandise)

## 2. SITC, original に準拠した商品分類

この商品分類は、1953年12月までサラワクのすべての貿易統計に使用されていた旧商品分類を、SITC, original の商品分類体系を基礎としたサラワク貿易統計品目分類に改訂し、1954年1月から実施したものである。これは大分類 (Section, 1 桁)、中分類 (Division, 2 桁)、小分類 (Group, 3 桁)、細分類 (Item, 6 桁) の4段階品目区分となっている。その品目数と細分類の構成比を示すと第2表のとおりである。

このサラワク貿易統計品目分類は、SITC, original の品目分類を次のような原則に基づいて修正し作成している。

(1) サラワクの輸出入貿易において、重要な利害関係の大きい商品については、その新しい品目を掲示するため、SITC 細分類品目をさらに下位分類する。

第2表 サラワク貿易統計品目分類の品目数  
および構成比 (1954年1月)

大分類 (Section, 1 桁)	中分類 (Division, 2 桁)	小分類 (Group, 3 桁)	細分類 (Item, 6 桁)	細分類 の構成 比 (%)
0類 食料	10	36	188	15
1類 飲料およびタバコ	2	4	29	2
2類 食用に適さない原材料 (鉱物性燃料を除く)	9	25	200	16
3類 鉱物性燃料、潤滑油、その他 これらに類するもの	1	5	25	2
4類 動物性油脂および植物 性油脂	1	3	22	2
5類 化学工業生産品	7	12	124	10
6類 原料別製品	9	36	328	26
7類 機械類および運搬用機 器類	3	12	186	15
8類 雑製品	7	14	145	11
9類 特殊取扱品	4	5	20	1
合 計	10	53	1,267	100

(出所) Sarawak Trade Classification 1954.

(2) SITC 5桁コードは、次の (i) あるいは (ii) に変えて、サラワク貿易統計品目分類の6桁コードとする。

(i) SITC 細分類品目 (5桁) を変更せず、そのままサラワク貿易統計品目分類の細分類品目とする場合、SITC 5桁コードに“0” (cypher) をつけ加える。

(ii) SITC 細分類品目 (5桁) をさらに1～9に下位分類し、それを SITC 5桁コードにつけ加える。

(3) SITC 細分類品目 (5桁) を1～9の下位分類の枠をこえて分類する必要がある場合、新しい6桁コードを追加する。

たとえば SITCコード23101の下位分類231011～231019以上に細分類する必要がある場合、SITC 分類の既存項目は23104までであるので、その次にサラワク独自の新しい6桁コード231051～231059を設けて追加する。

(4) SITC 小分類 (Group, 3桁) に設けられていない次の (i) あるいは (ii) の新しい小分類を追加



する。

(i) Group 932; 船舶あるいは航空機自身の消費のため直接積み込まれた船舶あるいは航空機用品。

(ii) Group 999; 金および通貨。

この1954年1月実施の品目分類は、3年後の1957年1月に、その分類体系や性格をそのまま踏襲しながら改訂され、1963年12月までサラワクのすべての貿易統計の編集・作成に使用された。

次に、この1954年版の品目分類表と1957年版のそれとを対比して、改正のポイントをみてみると、大分類、中分類、小分類は、品目の記述においてもその品目数においてもまったく改訂されておらず細分類品目において整理統合の修正がなされている。その品目数の増減は第3表のとおりである。

第3表 細分類品目数増減表

項 目	1954年版(1)	1957年版(2)	増減(2)-(1)
0 類	188	180	- 8
1 類	29	27	- 2
2 類	200	158	-42
3 類	25	23	- 2
4 類	22	20	- 2
5 類	124	107	-17
6 類	328	308	-20
7 類	186	170	-16
8 類	145	141	- 4
9 類	20	14	- 6
合 計	1,267	1,148	-119

(出所) *Sarawak Trade Classification*, 1954, 1957より作成。

### 3. SITC, Revised に準拠した商品分類

国連統計委員会は、1960年にブリュッセル関税品目表 (*Brussels Tariff Nomenclature*) と1対1の対応関係のできた SITC, Revised を公表したが、サラワクでもこの商品分類に関する国際基準に準拠したマレーシア貿易統計品目分類およびサラ

ワク関税率表 (*Malaysian Trade Classification and Sarawak Customs Tariff*, 1964) を作成し、1964年1月から現在に至るまでこの改訂した商品分類をサラワクのすべての貿易統計に使用している。この新しいマレーシア貿易統計品目分類も、6桁の商品分類で、かつ、大分類 (Section, 1桁)、中分類 (Division, 2桁)、小分類 (Group, 3桁)、細分類 (Item, 6桁) の4段階品目区分になっている。その品目数と細分類品目の構成比をみると第4表のとおりである。

第4表 マレーシア貿易統計品目分類およびサラワク関税率表の品目数および構成比 (1964年1月)

大 分 類 (Section, 1桁)	中分類 (Division, 2桁)	小分類 (Group, 3桁)	細分類 (Item, 6桁)	細分類 の構成 比(%)
0類 食料品および動物	10	33	266	12
1類 飲料およびタバコ	2	4	38	2
2類 食用に適しない原材料 (鉱物性燃料を除く)	9	30	246	11
3類 鉱物性燃料、潤滑油、その他 これらに類するもの	4	5	35	2
4類 動物性または植物性の 油脂	3	4	33	2
5類 化学工業生産品	9	16	269	12
6類 原料別製品	9	50	602	27
7類 機械類および運搬用機 器類	3	18	341	15
8類 雑 製 品	7	19	343	16
9類 特 殊 取 扱 品	6	7	23	1
合 計 10	62	186	2,196	100

(出所) *Malaysian Trade Classification and Customs Tariff*, Jan. 1964.

この貿易統計品目分類でも前述の SITC, Original に準拠した貿易統計品目分類と同じように、SITC 分類を初め各国で通常とられている貿易統計のカバレッジと大きく相違する点は、この品目分類の中に、932船舶および航空機用品、971金が含まれていることである。したがって、貿易統計の国際比較や商品グループ別分析を行なう場合、この点を勘案して統計数字を利用することが必要である。

(統計課 関根英一)